

# TLIFES 向け GUI の考案

090430080 松原真介  
川澄研究室

## 1. はじめに

現在、スマートフォン（以下スマホ）を利用して地域住民が安心して暮らすためのサポートシステム TLIFES(Total LIFE Support system)の研究に取り組んでいる[1]。TLIFES ではスマホを用いて見守られる側の様々な状態を検出してサーバに蓄積し、見守る側はサーバにアクセスすることでその状態を閲覧できる。

本研究では見守る側が見守られる側の情報を閲覧する時に必要となる GUI (Graphical User Interface) を提案する。ここでは、見守られる側としてアクティブシニア（外出などの活動に支障のない高齢者）を想定した場合についてまとめる。

## 2. アクティブシニアに必要な情報の整理

TLIFES が扱う情報は位置・行動・健康・運転などに関するユーザ情報と、スマホ・室内に関するデバイス情報に大きく分けられる。特にアクティブシニアを見守るために必要な情報を表 1 に下線を付けて示す。

表 1 アクティブシニアに必要な情報

		位置情報	行動情報	健康情報	運転情報	その他
ユーザ情報		位置	歩数	血圧	運転履歴	アプリ成績
		経路履歴 方位	行動	体重		アルバム
デバイス情報	スマホ情報	送信回数、電池残量、充電中				
	室内情報	位置取得方式 窓開閉検知、窓ガラス破壊 検知照度センサ、温度湿度センサ 電力センサ、人感センサ、煙検知				

## 3. 情報閲覧するデバイスの整理

見守る側がサーバに蓄積された情報を閲覧する際に使用するデバイスとしてスマホ・タブレット・デスクトップの 3 種類を想定している（図 1）。デバイスによって画面サイズや入力・操作方法が異なることを考慮して GUI を作成する。今回はデスクトップを想定して GUI を提案する。



図 1 情報閲覧に用いるデバイス

## 4. 画面遷移の構想

情報閲覧する際の画面遷移図の一部を図 2 に示す。

TLIFES のサイトにアクセスすると TLIFES LOGIN SESSION が表示される。ログインするとライフログの Home へ遷移し、位置、経路履歴、歩数、行動、血圧・体重、運転履歴、アルバム、アプリ成績に画面を切り替えることができる。対象者を変えて情報閲覧する場合にはライフログ Home から異なる対象者の Home へ移動する。

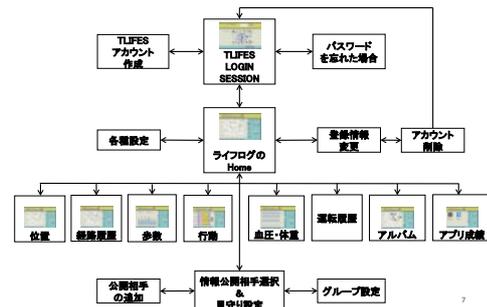


図 2 画面遷移図

## 5. 画面の作成

考案した画面の一例を図 3 に示す。①にはタイトルと各種ボタン、バッテリー残量を表示している。②には見守られる人の情報を表示する。③には表示情報の切り替え指示を入力する役割を持たせ、メニューバーやカレンダーなどを付加した。今後、タブレットやスマホで閲覧することを想定し、左側に重要な情報や操作ボタンを集中させた。



図 3 経路履歴情報を表示した画面例

## 6. まとめ

アクティブシニア、デスクトップを想定して考案した GUI を制作者に引き渡した。今後は、仕上がった GUI を試用しつつ不具合を改良していくと共に、デバイスや対象者を拡張した場合の情報の取り扱いや適切なインタフェースについて考えていく予定である。

## 参考文献

[1]大野雄基ら：弱者を遠隔地から見守るシステム TLIFES の提案と実装，情報処理学会研究報告，2012-CDS-3.No.2,pp.1-8,Mar.2012.